

地球温暖化の緩和と適応への取組を紹介します！

CO₂ 4.5万トン削減 へのはじめの一歩

温室効果ガス
吸収源の整備

堆肥センターでの家畜ふん尿の堆肥化

CO₂の吸収源として森林整備・保全



散布しやすい低水分堆肥を活用した土づくり



持続的生産
に向けた
省力化・安定化・
環境負荷低減

本県産の
未利用資源の活用拡大と
輸入依存脱却の推進



「みえるらべる」を活用した
環境に配慮したお米の消費拡大



学校給食への有機米提供

『環境負荷低減の「見える化」』
環境に配慮した県産品の消費拡大

調達

生産

消費

流通
加工

サプライチェーンや
環境負荷低減に着目した
県産品の商品づくり



宮城県産帆立端材を原料に使用した「帆立のリッチフレーク」

宮城県の農林水産業・食品産業が
2030年に目指す姿

1 (株)東北バイオフードリサイクル 仙台市

メタン発酵処理残渣から製造したバイオ肥料の利用促進を進めています。



液肥：伊達のしずく



固形肥料：伊達のみりのり

2 (株)かね久 仙台市

たこの皮など未利用資源を活用した持続可能な商品開発によるブランド確立とエシカル消費の普及を図っています。



3 (株)デ・リーフデ北上 石巻市

木質バイオマスボイラーと地中熱を利用したヒートポンプでパプリカやトマトを栽培し、化石燃料の削減を実現しています。



地元森林組合が製造した木材チップをボイラー燃料に使用

4 末永海産(株) 石巻市

牡蠣や帆立の端材を使用した商品開発により、付加価値化とロス削減を両立しています。



5 山徳平塚水産(株) 石巻市

さばの“あら”など利用されていなかった水産資源を活用した持続可能な商品開発に取り組んでいます。



6 (有)エヌ・オー・エー 登米市

GPS搭載の大型農機などを駆使した効率・省力的な耕畜連携により、資源循環型農業を実現しています。



農林水産業における環境負荷低減の取組事例

調達



生産



流通・加工



消費



7 登米町森林組合 登米市

人づくり・森づくり・森林資源の有効活用を通じ、地域社会の発展に向けた持続可能な林業に取り組んでいます。



12 (株)東松島ファーム 東松島市

県内最大級の完全人工光型無人化植物工場で、燃油や化学農薬を使用しない生産に取り組んでいます。



13 大崎市土地改良区 大崎市

農業用水を有効利用した小水力発電により、再生可能エネルギーの活用を促進しています。



18 (株)一専一笑 山元町

環境負荷の少ない品種や環境制御機器、IPM技術の導入による化学農薬の削減等に取り組んでいます。



日射比例かん水システム



UV-Bによる病害虫防除

19 JA新みやぎあさひなオーガニックプラント 大郷町

完熟発酵堆肥「郷の有機」を生産、流通させることで、資源循環型農業に貢献しています。



8 JAみやぎ登米 登米市

約8,300haで環境保全米を栽培し、「みえるらべる」を活用した販売PRも行っています。



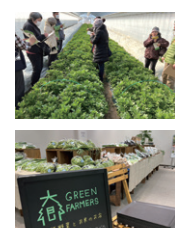
14 大崎市有機農業・グリーン化推進協議会 大崎市

有機栽培でアイガモロボットやスマート農業機器を活用した水管理を行い、環境負荷低減と省力化を図っています。



20 (有)大郷グリーンファーマーズ 大郷町

水稻・野菜で有機栽培を行っています。消費者との交流を通じて、環境に配慮した農産物への理解促進に取り組んでいます。



9 登米市有機農業推進協議会 登米市

学校給食への有機農産物の活用を促進しています。



有機米を使った学校給食

15 (株)こうだいらプランテ 大崎市

スマート農業やIPM技術を活用した環境負荷低減及び堆肥施用による土づくりなど、総合的な取組を進めています。



21 涌谷町 涌谷町

子実用トウモロコシの生産による飼料自給の強化を図っています。



10 (株)宮城白鳥農場 栗原市

温室効果ガス排出を削減した水稻栽培(乾田直は栽培)に取り組み、みどり認定を受けています。



16 デリシャスファーム(株) 大崎市

規格外品のトマトを原料とした加工品開発により、魅力的な商品を提供しながら廃棄量を削減しています。



22 安部陽一氏、陽介氏 美里町

水稻・大豆で80ha以上の大規模な有機栽培を行っています。



11 (有)ライスサービスたかはし 栗原市

水田への堆肥施用による土づくりや化学農薬・化学肥料の節減に取り組む、みどり認定を受けています。



温暖化への緩和・適応(宮城県)

試験研究や関係機関との連携により、取組を推進しています。

- 水稻での高温登熟耐性品種の導入と開発等
- 施設園芸での高温対策技術の導入
- 換気扇による送風、細霧冷房等による家畜の暑熱対策
- 藻場の再生
- 多様性に富む健全な森林づくり



※各取組内容の詳細は県HPを参照



23 (有)山藤運輸 南三陸町

食品残渣のメタン発酵消化液から製造したバイオ液肥を使った「めぐりん米」を生産し、「みえるらべる」を活用した販売PRも行っています。



宮城県の農林水産業における温室効果ガス排出量の削減目標

110.1万トン
(2019年度)

4.5万トン削減

目標値 105.6万トン
(2030年度)



項 目	2030年 目 標	温室効果ガス排出削減量 (二酸化炭素換算)	
		今後の取組	削 減 量
有機農業の推進	500ha	取組面積 168ha増 332ha→500ha	156t-CO ₂
化学農薬の使用量低減	10%低減 (2020農業年度比)	化学農薬使用量 10%低減 1,999t→1,799t	2,399t-CO ₂
化学肥料の使用量低減	20%低減 (2016肥料年度比)	化学肥料使用量 20%低減 11,956t→9,565t	7,006t-CO ₂
炭素貯留の取組 (堆肥の施用量増加)	施用量20%増	堆肥施用量 20%増加 19,623t→23,548t	510t-CO ₂
		当面の目安 10,071t-CO₂	

- 今後は更なる削減量の積み上げを図るため、水田におけるメタン排出量の削減に向けた**適正な中干しの推進**や**水稻から麦類、大豆、園芸作物への作付転換**など、温室効果ガス排出量の削減に向けた取組項目の拡大についても検討を進めます。
- また、間伐などの森林整備による**森林の多面的機能の維持・強化**や、**ブルーカーボンの認知度向上**等による社会実装の推進により、**二酸化炭素の吸収源対策**を進めます。

環境負荷低減活動への支援施策等

法律に基づく認定制度「みどり認定」

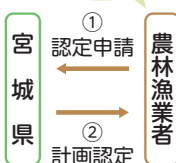
- ◆ 農林漁業者が5年間の環境負荷低減に取り組む事業計画を作成し、県が認定



◆「環境負荷の低減」の取組例

- 土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減
- 燃油使用低減や水稻中干し期間延長等、温室効果ガスの排出削減
- バイオ炭の農地施用など

グループ申請も可能です！



◆認定を受けるメリット

- 設備投資の際の税制優遇が受けられます。
- さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- 日本政策金融公庫の無利子融資等が活用できます。

交付金等

みどり認定農業者	環境負荷低減の取組に必要な機械や施設(除草機、堆肥舎等)の導入を支援 など
民間団体等	認定基盤確立事業者が行う資材の生産・販売等に必要な機械・施設の導入を支援 など
市町村、協議会等	有機農業推進拠点(オーガニックビレッジ)づくりの推進支援 など

環境負荷低減の取組の「見える化」

消費者が選択しやすいよう、農産物に「温室効果ガス削減への貢献」や「生物多様性の保全」の取組等を等級ラベルで分かりやすく表示しています。



対象品目

「みえるらべる」

	露地栽培	施設栽培	露地栽培及び施設栽培
穀 物	米		
野 菜	ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、はくさい、キャベツ、レタス、だいこん、にんじん、アスパラガス	ミニトマト、いちご	トマト、きゅうり、なす
果 実	りんご、日本なし、もも		温州みかん、ぶどう
い も	ばれいしょ、かんしょ		
その他	茶(荒茶加工されたもの)		

※環境負荷低減活動への支援施策等については、令和7年3月1日時点の内容で記載しております。

発行

宮城県農政部農業政策室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL: 022-211-2963

E-mail: noseise-k@pref.miyagi.lg.jp

HP: <https://www.pref.miyagi.jp/site/miyagi-midori/index.html>